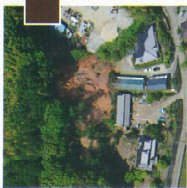


土砂災害ってなに？

大雨などが引き金となって、大量の土砂が崩れたり動いたり、水と一緒に流れたりすることから起こる災害のことです。地震の揺れが直接の原因となることが多い土砂災害もあります。また、大まかに分類すると、地震が崩れや動くところから、少しの雨や余震で土砂災害が起きやすくなる場所があります。

がけ崩れ（斜面崩壊）

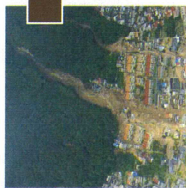
急な斜面が崩れる



- 傾斜が30度以上ある斜面が危ない。
- 大雨の雨が地中にしみ込むと起きやすい。
- 大雨の時に一瞬のうちに起こることが多いため、逃げ遅れて助からないおそれもある。
- 雨が止んだ後に起こることもある。雨が止んでも数時間は注意。
- ぐずれた高さの2倍くらいの高さまで土砂がおそってくることもある。

土石流

山から崩れた土や石が、水といっしょになって、ものすごい勢いで流れ下ってくる



- 大雨が発生の引き金になる。梅雨や台風の際は特に注意。
- 速いときは時速40キロ以上。大きな岩も流してしまう。
- 雪どけ水で発生することもある。

地すべり

やや傾斜のゆるい斜面が、広い範囲にわたってかたまりのまま動く



- 雨水や雪どけ水が地中にしみ込んで起こる。
- 家や田畑といったように大地がゆっくり動くこともあり、突然一気に何十メートルも動くこともある。
- 地震が原因で起こる地すべりもある。

河道閉塞（天然ダム）

崩れた土砂が川をせきとめる



- 地すべりやがけ崩れの土砂、土石流で流れてきた土砂が、ダムのように川をせき止める。
- 天然ダムの上流側は湖のように水がたまり、家や田畑が水につかる。
- 天然ダムはやがて、たまった水の方で一気に崩れ、下流に土石流が押し寄せる。

がけ崩れの前ぶれ

① がけから小石がバラバラ落ちてくる。 ② 樹木がゆれたり、かたむいたりする。 ③ 斜面から水がけき出る。 ④ 斜面にひび割れがでる。

立退き避難が困難な時は、がけから離れた部屋や2階などに避難しよう。

こんな変化に注意 土砂災害の前ぶれ（前兆現象）

身のまわりでこんな現象が起これたら、すぐに近所の人や役場に知らせ、安全な場所に避難しましょう。特に大雨が降っているとき、降ったあとには要注意です。

土石流の前ぶれ

① 川や沢の中でゴロゴロという音がしたり、火花が見えたりする。 ② 上流の山が崩れ、大きな石がぶつかり合いながら流れてくるため。 ③ 川や沢の流れがにこり、生木の木が流れてくる。 ④ 上流の山が崩れて、土砂や木が川や沢を流れているため。 ⑤ 山鳴りがする、異常なおこる。地震がくる。 ⑥ 上流で山が崩れているため。 ⑦ 雨がふり続けているのに川や沢の水が減る。 ⑧ 上流の川や沢が崩れて土砂でせき止められているため。土石流の危険がまっている。

土石流が近づく時は、川から離れたなるべく高い所に行こう。

地すべりの前ぶれ

① 池の水がにごったり、減ったりする。 ② 山の樹木がガタガタと揺れ、木の根が切れる音がする。 ③ 地鳴りや山鳴りがする。 ④ 小さな水がけき出る。 ⑤ 地面にひび割れや段差がでる。

ここにあげたのは前兆現象の一例です。このほかにも「いつもと何か違う、変だ」と感じたら、役場や近所の人に知らせて安全な場所に避難してください。

土砂災害警戒区域の看板

近所にこういう看板はないですか？

がけ崩れ、土石流、地すべりの危険が大きい場所を示しています。これらの場所は特に注意しましょう。

